

氏名	森田 牧子	部署	看護学科	職名	准教授
研究分野	地域精神看護学、産業保健、訪問看護				
学位	博士（看護学）				
学歴	2007年日本赤十字看護大学、09年首都大学東京（東京都立大学）人間健康科学研究科博士前期課程、18年首都大学東京人間健康科学研究科博士後期課程				
経歴	2010年首都大学東京（東京都立大学）健康福祉学部助教、16年埼玉県立大学保健医療福祉学部助教、18年埼玉県立大学保健医療福祉学部准教授				
所属学会（役職）	日本看護科学学会、日本精神保健看護学会、日本在宅ケア学会、日本保健科学学会、日本保健福祉学会（査読委員）				

【2021年度実績】

1. 研究業績						
(1) 著作						
	著作の名称	単・共	ISBN	発行所、全ページ数	著者、編者名	発行等年月
1	精神障害と看護の実践	共著		メディカ出版p374	出口禎子（監修）、森田牧子他	2022年1月
(2) 論文						
	論文の名称	単・共	査読	IF対象誌	雑誌名、巻（号）、開始-終了ページ	著者、編者名
1	該当なし					
(3) 学会発表						
	学会発表の演題	単・共		学会名、開催都市	発表者（発表者は○印）	発表等年月
1	精神保健医療福祉の支援者となった統合失調症患者のきょうだいの体験・	共同		日本精神保健看護学会第31回学術集会、山形県立大学	木村 諭志 横山 恵子 森田 牧子	2021年6月
2	統合失調症をもつ子の「就労」に関する親の思いと関わり	共同		日本精神保健看護学会第31回学術集会、山形県立大学	小島有香 横山 恵子 森田 牧子	2021年6月
3	精神疾患の母親をもつ子どものライフストーリー —4人の子どもの語りから—	共同		日本精神保健看護学会第31回学術集会、山形県立大学	伊賀聡子 横山 恵子 森田 牧子	2021年6月
4	精神科看護師が精神科病棟から精神科訪問看護に軸足を移すプロセスに関する研究	共同		日本精神保健看護学会第31回学術集会、山形県立大学	○森田牧子 森真貴子 嶋津多恵子他	2021年6月
5	単独での精神科訪問看護に伴う感情体験の消化に慣れるプロセスに関する研究	共同		日本精神保健看護学会第31回学術集会、山形県立大学	森田牧子 森真貴子 嶋津多恵子他	2021年6月
(4) その他						
	名称	単・共		発表場所等	発表者（発表者は○印）	発表等年月
1	該当なし					
2. 競争的資金等の研究						
	競争的資金等の名称			研究名	研究代表者・研究分担者の別	研究期間
1	文部科学省・日本学術振興会科学研究費補助金（基盤研究C）			在宅における精神障害者虐待予防に向けた訪問看護ケアプログラムの構築	研究代表者	2018年度～2022年度
2	文部科学省・日本学術振興会科学研究費補助金（基盤研究C）			若年認知症介護者の健康問題の見える化による支援システムの構築	研究分担者	2019年度～2022年度
3	文部科学省・日本学術振興会科学研究費補助金（基盤研究C）			精神科看護師の病棟から地域（精神科訪問看護）への移行のプロセスに関する研究	研究分担者	2019年度～2022年度
3. 教育業績						
(1) 講義						
	講義の名称	科目責任者	コマ数	概要（教育内容・方法等において工夫した点）		
1	精神看護学Ⅰ		2	地域における精神看護では、在宅精神障害者の生活の実際、生活に必要な法律、社会サービス、訪問看護等を講義した。自殺については若年者の自殺の増加について、予防、取り組み、遺族への支援について講義した。		

2	精神看護学Ⅱ	○	8	科目責任者として、精神看護の具体的な内容、技法、当事者や家族の思いについて初学者がイメージを持つことができる講義組み立てを行っている。講義担当の訪問看護では、病院で必要とされる看護と在宅で必要とされる訪問看護について、経験した事例や映像を用いて学生が精神科看護を具体的に理解できる講義を行った。気分障害への看護は学生が具体的にイメージしやすいように映像を用いて、アセスメントと看護の特徴について講義を行った。
3	メンタルヘルス論		3	日本におけるメンタルヘルスの現状と法律の歴史、産業看護としての職務、義務等について講義を行った。
4	看護実践科学 精神看護制度論		15	精神科における制度について、自分の研究をもとに説明を行った。その後、学生の疑問等を基にディスカッションを行った。
5	病態生理学		15	病態生理を基にしたCNS課程の事例発表についてディスカッションとCNSとして必要な視点、解釈、実践のアドバイスをを行った。
6	看護基盤学 看護倫理		2	精神科看護における倫理的課題について講義を行った。精神領域外の学生が理解できるように、精神科看護の特徴、現状の課題、隔離・拘束についての根拠法律や看護師の倫理的感受性について事例による説明を行った。それらを踏まえた上で、倫理原則、倫理的概念から精神医療を考える講義を行い、その後はディスカッションで学びを深めた。
(2) 演習				
	演習の名称	科目責任者	コマ数	概要（教育内容・方法等において工夫した点）
1	精神看護学Ⅱ	○	8	再構成ではロールプレイを用いて事例展開を行い、学生がイメージしやすいように指導を行った。ケアプランでは身体だけでなく精神も含め、かつ包括ケアも意識したプランの作成を指導した。
(3) 実習				
	実習の名称	科目責任者	学外実習：期間 学内実習：コマ	概要（教育内容・方法等において工夫した点）
1	IPW実習		2021.07-2021.10	IPW実習グループ（3チーム）のリーダーとして実習に参加した。実習は新任教員の指導から実習の事前打ち合わせから4日間のスケジュール決定まで行った。学生が連携に関して自主的に学び、チーム形成が行えた成果を報告会で開催できるように支援した。
2	精神看護学実習		2021.08-12	精神科急性期病棟における看護において、精神障害者の問題解決だけでなくストレングスにも着目してケアプランが立てることができるように関わった。
3	総合実習		2021.07	さいたまマックにおいて、アルコール依存症の方が退院後にどのような社会資源を用いて生活を送るのか、生きづらさとは何かを学ぶことができるようにミーティング参加を通して指導を行った。
(4) 論文指導				
	対象	期間	主指導・副指導の別及び指導人数	
1	卒業論文	2021.04-2022.03	主指導 4名	副指導 名
2	修士論文	2021.04-2022.03	主指導（指導教員） 名	副指導（指導補助教員） 1名
(5) その他				
	名称	期間	概要（教育内容・方法等において工夫した点）	
1	該当なし			
4. 社会貢献活動				
(1) 講演会、研修会、公開講座等の講師				
	講演会、研修会、公開講座等の名称	主催	講演、研修、公開講座等のテーマ	開催年月
1	家族のためのリカバリートーク	埼玉県立大学公開講座	家族のためのリカバリートーク	2021.10
2	埼玉県立精神医療センター看護研究指導	埼玉県立精神医療センター	看護研究指導	2021.4～現在
(2) 国、自治体、学術団体等における委員等				
	国、自治体、学術団体等の名称	委員等の名称		任期
1	厚生労働省	保健師助産師看護師試験委員		2019.05～2022.03
2	東京都第三者評価委員（評価者）	東京都第三者評価委員		2011～現在
3	NPO法人アドボケイト会 副理事長	副理事長		2017～現在

4	特定非営利活動法人さいたまマック運営委員	運営委員	2019～現在
5	日本保健福祉学会 査読委員	査読委員	2019～現在
(3) ジャーナリズムでの発言			
	メディア等の名称	内容	年月
1	該当なし		
(4) その他			
	項目	相手方等	内容
1	該当なし		
5. 学内運営			
	項目	内容	期間
1	全学的委員会及びセンター業務等	地域産学連携委員会	2021～現在
2	学科等における委員会等	看護学科カリキュラム運営検討会	2019～現在
6. 受賞（研究、教育、社会貢献活動に関するもの）			
	受賞名	主催	受賞年月
1	該当なし		
7. 特許の取得			
	特許名	特許番号	登録年月
1	該当なし		
8. 特記事項			
1	該当なし		